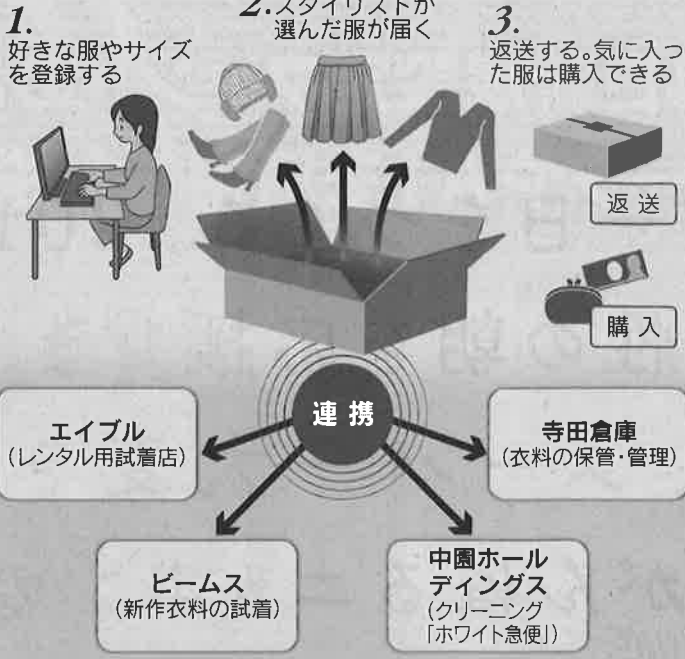


### エアークローゼットは連携を通じて仮想店舗と実店舗の相乗効果を目指す



ベンチャー企業(VB)が衣料の新たな事業モデルを提供している。シェアリング(共有)サービスに加え、IT(情報技術)や人工知能(AI)でネット通販の普及を後押しする。VBのアイデアが市場全体を活性化させる可能性もある。

# 衣料ビジネス VBが「衣替え」

「月何回でも使え、出費も抑えられる。家に余分な服をためこむ必要もない」。昨秋からエアークローゼット(東京・港、天沼聡最高経営責任者CEO)が提供する衣料

## 「お任せ」レンタル

エアークローゼットは、大倉さんは月4回ほど自宅に届けられたワンピースやスカートなどを職場に着ていく。普段は落

ち着いた色柄を好むが、たまに鮮やかな服を着ると、同僚の評判もいい。利用料は月額で税別6800円から。好みに合わせ、スタイリストが3着選んで、配送してくれる。送料や返品時のクリーニング代は無料だ。シェアリングサービスが普及すると、新品の売り上げが減少することを懸念するアパレル企業もある。エアークローゼットでは気に入った商品の購入もできる。利益をブランドに還元する仕組みをつくったことで、協力企業は増え、取り扱う衣料は3000ブランド以上、約10万点にのぼる。衣料の管理は寺田倉庫(東京・品川)、クリーニングは「ホワイト急便」(熊本市)が協力する。会員は約10万人まで増えた。2016年にはセレクトショップ大手のビームス(東京・新宿)と連携、新作衣料の試着サービスを始めた。エイブルとも連携、東京・表参道にレンタルする前に試着できる店も出した。

既存業者と摩擦を起しやすいため一般的なシェアリングビジネスの枠を超え、アパレル企業、レンタル会社双方が利益を取れるウィンウィンビジネスモデルを志向する。

「以前はサイト上で見てもサイズが不安で、結局店で見ながら購入するか決めていた。不安が軽減された」。都内在住の30代男性はこう語る。利用したのはスウェーデンのVB、バーチャサイズ(東京・渋谷、上野オラウソン・アンドレアス社長)のサービスだ。

## ネット「エア試着」

ウェブの商品と以前購入した商品のイラストを重ねてサイズやシルエツトを比較でき、ネットであたかも試着している雰囲気味わえる。履歴が残っていない場合は、手元の衣料の実寸を入力すればよい。ユナイテッド

## AI、着こなし指南

「以前はサイト上で見てもサイズが不安で、結局店で見ながら購入するか決めていた。不安が軽減された」。都内在住の30代男性はこう語る。利用したのはスウェーデンのVB、バーチャサイズ(東京・渋谷、上野オラウソン・アンドレアス社長)のサービスだ。

### お金のデザイン 初心者向け投資助言

「半分」と指摘する。言い換えると、潜在成長率が高い。試着というポータルネットが解消すれば、ネット比率は一気に高まりそう。



顧客は「資産運用豊富か」「投資力下がりしたらどういった簡単な5つえるだけ。手軽な産運用を実現するのデザイン(東京・明田社長)だ。98億円(ジャパ

